

静岡県漁業協同組合連合会
1097 静岡市追手町 9-18
16.6.18 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 平成16年度通常総代会を開催

- 県漁船保険組合 -

県漁船保険組合(佐藤吉明組合長)では、去る6月8日平成16年度通常総代会を開催し、平成15年度事業報告、平成16年度事業計画等について審議し、総て原案どおり承認しました。また、理事の欠員に伴う補欠選任では、安良理漁協近藤組合長が選任されました。

平成15年度の全保険種目の総収入保険料は、船主責任保険・乗客損害の増収があったものの、普通保険の減収がこれを上回り909百万円(前年比1.1%減)となりました。一方、総支払い保険金は普通保険の支払いが増えたものの、船主責任保険の支払いが大幅減となり564百万円(9.3%減)となり、最終損益では12百万円の剰余金を計上しました。

平成16年度事業計画では、普通保険は引き受け隻数6,150隻、保険金額519億円、収入保険料663百万円の加入計画となっています。

なお、無事故漁船所有者、優良乗組員など13名を表彰しました。

2. お魚チャレンジ カツオを題材にお魚料理教室開催

- 県おさかな普及協議会 -

県おさかな普及協議会(西川徳市会長)では、去る6月12日県男女共同参画センターあざれあ(静岡市)において、お魚ふれあい事業・お魚チャレンジの一環として「お魚料理教室」を開催しました。

料理教室は、宮田クッキングスクール代表、宮田克代先生を講師に迎え、料理初心者を対象に公募した15名の参加者によりお魚料理教室が実施されました。

参加者は、刺身やタタキで食することの多いカツオを題材として、タタキをはじめ、焼く、煮る、揚げる、の幅広い料理法で、大人から子供まで味わえる料理に挑戦し、「カツオの五色サラダ」、「カツオのカレー揚げ」、「カツオのベーコン巻き野菜」、「カツオのトマトソース煮込み」の4品を、和やかな雰囲気の中仕上げました。

このほか、調理の段階で余ったカツオは保存の利く「カツオの角煮」に調理し、無駄なくカツオの利用法を学びました。

また、アンケート調査を行った結果、魚に対する食の意識として、肉に比べてヘルシーで健康的な食べ物と思うと、参加者のほとんどが回答した一方で、レパートリーが少ない、調理がめんどうなどの回答も寄せられました。

3. 御前崎沖合の磯焼け対策

県水産総室では、南伊豆町下流沖約500㍍の海域に県水試伊豆分場が仮置きしていた、カジメ増殖用コンクリートブロックの引揚げ作業を去る6月14日に行い、相良から御前崎の沖合に移設しました。

この試みは、昭和60年頃から相良から御前崎沖合にかけての海底に、群生していた大型海藻類が枯れ、磯根漁業に影響を及ぼし「磯焼け」の被害が深刻化しているため、02年度から沿岸漁場整備開発事業としてスタートしたもので、消失した海藻類の代わりに「植林」するものです。この事業では、海中林を復活させアワビやサザエを増殖させる

ことを狙いとしたもので、全国でも先駆的で最大規模の事業となっています。

ブロックは2年前から約2,000個を南伊豆町下流沖に仮置きし、海草のカジメを自然に着生させ、50~60㍍ほどに育ったカジメが40~50本付着した約3㍍のブロックを45個引き上げ、クレーン船で御前崎の約1㍍沖合に移設し、さらに、今月中に計90基のカジメ付きブロックを同海域へ移設します。

4. 小型船の再資源化を製造者に義務付け

国土交通省はこのほど、プレジャーボートなど強化プラスチック製の小型船が放置して捨てられるのを避けるため、製造業者が使用済みの船を引き取り、リサイクルを義務付けるべきだとする報告をまとめました。

報告では、放置対策として、ユーザーは購入時にリサイクル費用の一部を上乗せした価格を製造業者に支払い、製造業者は解体業者などに廃棄処理を委託することなどが考えられるとしています。新たなリサイクルシステムでは、製造業者が処理業者やセメント製造工場に委託して集中的に廃棄処理するため、同省は、1隻当たりの廃棄コストを軽減できるとして、製造業者やユーザーに理解を求めていき、今後は廃棄物処理法の改正や新法制定を検討し、2005年度以降の制度導入を目指します。

国内では、年間約5千隻以上が廃棄されると見込まれていますが、廃棄コストが1隻当たり30~50万円と高いことから不法放置につながっています。

5. 県TAC(漁獲可能量) 5月末漁獲実績を発表

県では、このほどTAC対象4魚種の5月末現在の漁獲実績を発表しました。

それによると、サバがTAC数量6,000㍍に対し1,982㍍で消化率33.0%となり、TAC数量が若干量の魚種では、マアジ1,805㍍、マイワシ72㍍、スルメイカ176㍍の漁獲量となりました。また、サンマは3㍍の漁獲量でした。

6. 新刊図書紹介 「平成14年度水産業協同組合法一部改正の解説」

(株)水産社では、このほど平成16年最新改訂版「平成14年度水産業協同組合法一部改正の解説」(水産業協同組合法制研究会監修)を刊行しました。

水産業をとりまく現況が厳しいものとなるなか、金融自由化の進展など金融情勢も大きく変化し、漁業系統のより効率的で健全な事業の実施体制が求められています。こうした状況変化に的確に対応するため、平成14年6月に「水産業協同組合法の一部を改正する法律」が公布され、平成15年1月から施行されました。

本書は昭和38年6月の初版発行以来、今回で改訂8版の刊行となり、今回の改正の趣旨や改正に係る新旧対照表を合わせ掲載され、本邦唯一の水協法解説書として、水産業に携わる方々の必携の実務書といえます。

定価：4,000円(税込) A5版・307頁 問合せ先：(株)水産社 TEL:03-3353-8221
FAX:03-3353-8226

7. 諸会議・日程 (6月22日(火)~7月5日(月))

- 既報分省略 -

7月1日(木) 県漁業信用基金協会 = 理事会 (県水産会館)

7月2日(金) 県さんま棒受網漁業協会 = 通常総会 (安良里漁協)

7月4日(日) 県漁連 = 口坂本の森クラブ活動 (静岡市)